

松本短期大学同窓会会報

2022年度号

発行：松本短期大学同窓会
発行日：令和4年7月
印刷所：電算印刷株式会社



創立50周年事業を終えて

同窓会長 手塚富喜子

会員の皆様にはご健勝にてご活躍されていることと思います。

昨年度は母校松本短期大学の創立50周年の年でした。同窓会では、昨年の会報でお知らせしたように校歌の制定のための援助、記念誌の発行のための資料の提供と援助を行いました。皆様からの貴重な寄付金も使わせていただき、事業ができましたこと心より感謝致します。また今年の2月10日には校旗の寄贈を行いました。さらには昨年4月に開校した松本看護大学の校旗もお祝いの記念品として贈呈致しました。何年も母校の入学式、卒業式に伺わせていただきましたが、国旗のみ掲揚された式典は少し寂しく感じておりましたが、ようやく今年度の入学式には校旗も一緒に飾っていただくことができました。

本来なら、50周年を祝った式典など計画するところでしたが、新型コロナの流行により、多くの人が集うことは無理な状況にあり取りやめることになりました。同窓会としては会員が集まって親睦を図るまたとない機会となるはずでしたが大変残念でした。

創立してから50年の間に、母校も幼児保育学科の一科から介護福祉学科、福祉専攻科、そして看護学科と大きく発展し地域社会にも大きな貢献をする学校となり、一期卒業生の私にとっては誇らしい限りです。会員の皆様にも母校がさらに発展できますよう、それぞれの場で、益々のご活躍をされますことを願っています。

尚、福祉専攻科は令和3年3月で閉科になりました。そして短大としての看護学科は来年3月で閉科となります。

その為、今年度をもって看護学科同窓会を閉会することが先の定例理事会にて了承されたことをお知らせ致します。



感謝のこころ

松本短期大学学長 木内 義勝

昨年の本学創立50周年の記念行事に際しては、同窓生の皆様方から物心両面で多大なご支援をいただきました。改めて心からお礼を申し上げます。校歌の制定、記念誌の発行に加え、今年になっては、美しく大きな校旗を短大と松本看護大のためにご寄贈いただきました。本当にありがとうございます。

一昨年から学生募集を停止した看護学科は、本年度は3年生だけとなり、昨年4月に開学した看護大学の学生が入れ替わるよう来年は3年生となります。その結果、来年度から本学は、幼児保育と介護福祉2学科の短大になります。学校法人松本学園は、松本看護大学、松本短期大学、短大附属幼稚園から構成されることになりました。学園がこのような大きく成長を遂げた出発点とその後の発展は、幼児保育学科の堅実な運営と社会的信用に支えられていることに思いを馳せております。

今年3月に3学科の卒業生には、次のような言葉を贈り前途を祝福しました。

まず、卒業後の領域は違って、みな同じように人をケアする情動的な職に就くわけですから、「温かい心と確かな技」で接してほしいと希望しました。相手の身になって考え行動するやさしさに基づかないとせつかくの技も活きません。

次に、「自分を見つめ、言動を常に振りかえる」ことに触れました。iPS細胞を発見した山中伸弥先生は「悪いことが生じたら身から出たサビ、良いことは（周りの人の）おかげ様」と謙虚に述べておられます。

このことに関連して3番目に「常に感謝の思いを持ち続ける」ことを強調しました。自分だけで何かを成し遂げたと思うのではなく、周りの人からの支えがあったからこそと思って進むとき、豊かな日常がもたらされます。

簡単ながら学園の状況をお伝えするとともに、同窓生の皆さまにおかれましては、各分野で存分にご活躍のほどご祈念申し上げます。

幼児保育学科同窓会事業より

特集

パペット人形講習、そしてその後の活用は…



幼児保育学科同窓会が例年実施している「パペット人形講習会」。
保育実践の場で、子どもとのコミュニケーションを取りやすくする一つの小道具としての有効活用を目的としています。人形の一部を制作してから演じ方を学ぶというもので、10年程前から幼児保育学科の学生向けに開催しています。始めた当初は棒人形でしたが、3年前から、扱いやすいパペット型の人形になっています。

制作と指導を担当してくれるのは、人形劇団「やまんば」の皆さん。「やまんば」は岩井田紀子さん（昭和47年度卒）が主宰する劇団で、右腕として活躍されている望月富子さん（昭和49年度卒）などと、長きに渡り楽しい人形劇を提供しています。毎年、後輩たちのためにと、お力をいただいています。同窓会では、講習会で使用した人形をそのまま学生にプレゼントしています。



この2年間はコロナ禍のため、やまんばさんに作っていただいた人形の中から「お気に入り」を選び、映像による基本を学んでから実際に保育の場を想像して動かしてみます。



1年生対象ですが、入学して3ヶ月でも保育士の卵達は結構な演じ方を見せてくれています。今年度も7月13日に開催予定です。



塩尻市の日の出保育園で…

【中野智絵さん 令和2年度卒】

保育士2年目。短大ではパペット人形を作成。

3歳児15名のクラス担任として、毎日奮闘中です。

朝の会や帰りの会、また子どもたちが注目してほしいときに、パペット人形を使っています。クマのパペット人形は子どもたちも親しみを持っていて、子どもたちの前に出すと、「あー。くまくんだ！」と大喜び。一斉にこちらに目を向け始めます。これからも人形を保育の中で上手に使っていきたいと思います。

卒業後の保育現場で





母校 幼児保育学科

生田恵津子教授（昭和48年度卒）左
山藤宏子准教授（昭和58年度卒）

母校では

母校では、近年、文化系のサークルが存在していません。そんな状況を変えようと、昨年、生田先生と山藤先生が学生たちに呼びかけました。その熱心な声掛けに8名の2年生が立ち上がり、人形劇を中心とした「松本短期大学こども文化研究会」を発足させ、人形劇への取り組みがスタートしました。

豊富な劇団経験のある山藤先生、とにかく行動的でパワフルな生田先生による指導のもと、短期間にもかかわらず、ついに「飯田人形劇フェスティバル」への参加も実現するまでになりました。

いくつかの公演や最後の公演のトリにも抜擢されていたのですが…
しかし、コロナ感染拡大

によるフェスティバルの規模縮小により参加は断念。その代わり三郷児童館、塩尻のえんぱーくなどで公演し経験を積んできました。

そして、今年こそはと、また張り切っているとのこと。

現在の2年生の会員は9名。これから入会する1年生も加え、研究会の幅も広がっていくようです。



また、文化研究会は、地域との繋がりを大切にしています。

今年になってニュースにもなったこの絵本。実は研究会の学生達が考えたものなのです。人形劇にこだわらず、こどもに関する様々な文化に触れ、研究、体験する研究会。



この絵本は、地元のサッカーチーム松本山雅FCの「スマイル山雅農業プロジェクト」の食育の一環として作られ、松本山雅FCのホームタウン9市町村の保育園・幼稚園・認定こども園・小学校198カ所に寄贈されました。

主人公の松本山雅FCオフィシャルマスコット「ガンズくん」が、動物の友だちに励まされながら、この地方の特産である大豆の「あやみどり」をおじいさんと一生懸命に育てるというストーリー。素敵な絵本になりました。短大唯一の文化系サークルとして、この研究会を注目し、ますますの活躍を期待しましょう。

卒業後の保育現場で

【三尾穂乃花さん・田中春瑠さん 平成26年度卒】

保育士8年目。短大では棒人形を作成。

*塩尻市の公立保育所には松本短大卒の保育士も多いため、学生時代に作った棒人形を使って子どもたちに人形劇を披露しています。

棒人形の動かし方や演じ方も、学生時代に教わったので、子どもたちの前でも上手にできました。子どもたちの反応もすごくよく、大盛り上がりでした。*



介護福祉学科同窓会 特集

Part 1 「職場別相談セミナー」を通して在學生と卒業生との接点づくり

2021（令和3）年7月15日、介護福祉学科2年生を対象に介護福祉学科同窓会主催による「職場別相談セミナー」が開催されました。このセミナーは、介護福祉士として働く卒業生が介護福祉士の魅力や喜び、やりがいなどを在學生に伝え、それらに対して在學生が質問するという双方向の学びと交流を図る取り組みであり、毎年恒例となっています。



当日は、介護老人保健施設で働く百瀬弘章さん（介護福祉学科3期生）、介護付き有料老人ホームで働く百瀬（旧姓：大西）八代さん（19期生）、通所介護で働く渡邊美咲さん（18期生）、施設ケアマネジャーとして働く柳沢佳澄さん（1期生：介護福祉学科同窓会長）の4名が母校を訪れ、「現在の職場を選んだ理由」「長く働き続ける秘訣」「介護福祉士として働く上で大切なこと」「給料や研修等の労働環境」「後輩へのメッセージ」などについて、わかりやすく具体的に伝えました。



百瀬弘章さんは「介護福祉士として、まずは自らの立ち位置や自らの力の限界を知ってほしい」と自分自身を知ること（自己覚知）の必要性を語り、柳沢佳澄さんは「困ったこと、わからないことがあれば、遠慮なく先輩職員に聞いてほしい」と自分だけで抱え込まないことの重要性を述べました。

学生たちからは「介護福祉士として働く上での貴重なアドバイスをいただいた」「責任ある行動が求められることを改めて実感した」などの感想が聞かれ、介護福祉士を目指す自分自身への後押しにつながったようです。今後も介護福祉学科同窓会では、在學生と卒業生との接点をつくり、双方が互いに学び合える取り組みを企画していきたいと思えます。



活躍する卒業生の情報を募集中

介護福祉士の魅力を発信していくため、活躍する卒業生の情報を募集しています（自薦他薦を問いません）。

連絡は、松本短期大学 福田 明（介護福祉学科4期生）までお願いします。

TEL : 0263-58-4547

E-mail : mjc-a.fukuda@matsutan.ac.jp

Part 2 母校で教員として活躍する卒業生 —原田春海先生(平成25度卒業生)—

原田春海先生(介護福祉学科20期生)は、現在、母校松本短期大学介護福祉学科の非常勤講師として、1年生の生活支援技術の授業を担当しています。

以前働いていた通所介護(デイサービス)での経験を踏まえ、1つひとつの動作をなぜ、そうするのか、その根拠を理解できるよう、丁寧な授業を心がけているとのこと。学生からも「原田先生の授業はわかりやすいし、何よりも楽しい!」という感想が聞かれます。

取材したこの日(2022年6月2日)は、介護福祉学科1年生(介護福祉学科30期生)が生活支援技術の授業の一環



として短期大学の中庭で「車いすの移動介護」を学んでいました。学生たちは、原田先生の指導に基づき、スロープでの移動や約40cmの段差を越える体験を通し、車いす操作の難しさとともに路面状況に応じた操作方法を身につける必要性を認識できたようです。

原田先生によれば、「そうしたテクニックも必要だが、周囲の状況を説明したり、花を一緒に見たり、記念写真を撮ったりするなど、利用者の方が車いすで安心して外出でき、楽しさをいかに感じていただくかという視点も大切にしてほしい」と述べていました。

さらに「車いすの移動は屋内だけではありません。今回のように屋外での演習を通して、初めてわかったことや気づくことがあったはず。学び得られたことを今後ぜひ活かしてほしい」と後輩たちの今後の成長を期待していました。



介護福祉学科20期生の原田先生(前列右端)と
介護福祉学科30期生の1年生

●耳より情報 —離職した介護職の再就職準備金貸付制度のご案内—

離職した介護職で介護の仕事に復帰するための費用として**最大40万円**を借りることができ、さらに**2年間**長野県内で介護職として働けば**返金が全額免除**となる制度です。関心のある方は、下記までお問合せください。

社会福祉法人 長野県社会福祉事業団 本部事務局

TEL : 026-228-0337 E-mail : shikin@nagano-swc.com

令和3年度の活動報告

看護学科同窓会会長 滝沢 圭

同窓会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、沢山の同窓生が多面で活躍されていることは、非常に心強い限りであります。新型コロナウイルスの感染により制限されていた生活も、with コロナの考えのもと徐々に緩和され始め、日々の生活も落ち着き始めています。しかし、医療体制としてはまだまだ予断を許さない状況が続いているのも事実です。ご健康とご活躍を祈ります。

昨年度の同窓会活動ですが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応のため考えていた活動は行うことが出来ていません。そのため卒業記念品の贈呈、国家試験応援として軽食、感染対策品への費用支援となっています。

今後の看護学科同窓会の活動ですが、2021年の松本看護大学の開学に伴い、松本短期大学看護学科は令和4年度の卒業生をもって閉科となります。そのため別紙にてご連絡させていただきますが令和4年度卒業生への卒業記念品の贈呈、国家試験応援会の実施をもちまして松本短期大学看護学科同窓会の活動を終了する運びとなりました。これまで活動してこられましたのも、ひとえに皆様の温かいご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

国家試験出発式



学科長の宮坂先生がエールを

卒業記念品を贈りました



看護師の必需品です

母校創立50周年記念事業報告

— 令和3年度分 —



創立50周年記念誌



寄付金贈呈 (R3.7.21)



松本短期大学校旗寄贈 (R4.2.10)



松本看護大学校旗寄贈 (R4.2.10)

《学園事業として》



松本看護大学前のオープンテラスに「鳩と少女像」(H5年寄贈)が移設されました。
(R3.11.24)

同窓会ホームページが更新されました!

母校のホームページの中にある同窓会のページが更新されました。内容も見直しましたので、是非のぞいてみてください。

創立50周年記念誌 届いていますか?

昨年発行した創立50周年記念誌が多数戻ってきています。お手元に届いていない方で希望する方は、短大事務局までご連絡下さい。再発送致します。
TEL 0263-58-4417

令和3年度 事業報告

令和3年

- 4月2日 母校入学式
(コロナウイルスにともなって入学式縮小の為、来賓の参列なし)
会費徴収(幼保4名・介護2名)
- 4月10日 会計監査
- 4月14日 50周年記念誌プロジェクト会議
会長、臼井副会長出席
- 4月24日 定例理事会
10:00~ 場所:松本短期大学会議室
役員33名中 出席11名 委任状16名
- 5月27日 50周年記念誌プロジェクト会議
最終確認会長、臼井副会長出席
- 6月上旬 名簿整理
- 6月18日 50周年記念誌プロジェクト会議
訂正箇所の確認
会長、臼井副会長出席
- 6月25日 同窓会報編集
- 7月21日 記念誌発行援助金贈呈
及び校旗について打ち合わせ
- 7月26日 看護学科同窓会の今後について話し合い
場所:松本短期大学
- 7月 同窓会報発行
- 8月25日 看護学科同窓会の今後について学校先生方と懇談
- 9月 「おとぎ祭」中止の為補助はなし
- 11月24日 50周年記念及び看護大学開学記念
オープンテラス御披露日会 会長出席
- 12月28日 同窓会入会案内パンフレット内容見直し会議

令和4年

- 2月10日 松本短大及び看護大学校旗寄贈
新入生へ同窓会入会案内パンフレット配布依頼
- 3月15日 母校卒業式
(コロナウイルスにともなって卒業式縮小の為、来賓の参列なし)
令和3年度卒業生に同窓会しおり配布
- 3月19日 本部役員会
10:00~ 場所:松本短期大学会議室
本部4名 幼保1名 介護1名 看護1名 計7名出席

令和4年度 事業計画

令和4年

- 4月4日 母校入学式
(コロナウイルスにともなって入学式縮小の為、来賓の参列なし)
会費徴収(幼保4名・介護2名)
- 4月9日 会計監査
- 4月23日 定例理事会 10:00~
場所 松本短大
- 6月 名簿整理
- 6月 同窓会報編集
- 7月 同窓会報発行
- 10月 「おとぎ祭」への援助

令和5年

- 2月上旬 同窓会入会案内パンフレット配布依頼
- 3月上旬 本部役員会
- 3月中旬 母校卒業式参列(会長)
令和4年度卒業生に同窓会しおり配布
- ※その他 看護学科の今後の在り方について検討
会則改正について検討等

令和3年度 一般会計収支決算書

松本短期大学同窓会

収入の部

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	内 訳
①会費等収入	1,300,000	1,310,000	10,000×130人(2020年度新入生133名)未納分10,000×1名
②特別会計より	1,100,000	1,100,000	
③雑収入	0	6	利息
合 計	2,400,000	2,410,006	

支出の部

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	差 額	内 訳	
(1) 通年運営費	会議費	200,000	173,513	26,487	理事会費、役員会経費、役員手当
	事務費	10,000	4,910	5,070	コピー代、用紙、のし代
	通信費	15,000	10,320	4,680	はがき、切手
	おとぎ祭援助金	200,000	0	200,000	未開催の為
	雑費	20,000	0	20,000	慶弔費等
(2) 会報発行費	同窓会案内しおり	70,000	89,100	-19,100	しおり、パンフレット、運営費、予備費より補填
	発行関係費	950,000	795,952	154,048	会報5464部
(3) 各学科 活動費	名簿整理費	10,000	10,000	0	
	幼児保育学科	130,000	130,000	0	別紙
	介護福祉学科	100,000	100,000	0	別紙
(4) 手数料	看護学科	80,000	80,000	0	別紙
	手数料	2,000	2,970	-970	振り込み手数料 運営費より補填
(5) 記念事業費	校旗制作援助費	100,000	70,380	29,620	校旗2枚(短大、看護大)、箱代
	50周年記念委員会	500,000	500,000	0	
(6) 予備費	予備費	13,000	13,000	0	
決算額合計			1,967,145		
特別会計繰入			442,861		
合 計	2,400,000	2,410,006			

令和4年度 一般会計収支予算書

松本短期大学同窓会

収入の部

項目	前年度 予算額	本年度 予算額	内 訳
①会費等収入	1,300,000	1,290,000	令和4年度新入生10,000×129名
②特別会計より	1,100,000	530,000	
③雑収入	0	0	
合 計	2,400,000	1,820,000	

支出の部

項目	前年度 予算額	本年度 予算額	差 額	内 訳	
(1) 通年運営費	会議費	200,000	200,000	0	理事会、役員会経費、役員手当
	事務費	10,000	6,000	-4,000	コピー代、用紙
	通信費	15,000	15,000	0	葉書・切手、電話代
	おとぎ祭援助金	200,000	150,000	-50,000	
	雑費	20,000	20,000	0	慶弔費等
(2) 会報発行費	同窓会案内しおり	70,000	0	-70,000	
	発行関係費	950,000	950,000	0	
(3) 各学科 活動費	名簿整理費	10,000	10,000	0	
	幼児保育学科	130,000	150,000	20,000	別紙
	介護福祉学科	100,000	250,000	150,000	別紙
(4) 手数料	看護学科	80,000	55,000	-25,000	別紙
	手数料	2,000	3,000	1,000	振り込み手数料
(5) 記念事業費	校旗制作援助費	100,000	0	-100,000	
	記念事業寄付	500,000	0	-500,000	
(6) 予備費	予備費	13,000	11,000	-2,000	
合 計	2,400,000	1,820,000	-580,000		